

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
芸術	音楽Ⅱ	1	選択履修	R6・2	文系
使用教科書	MOUSA 2 (教育芸術社)				
副教材	なし				

1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的な背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

2. 学習方法

- ・基本的に教科書を中心に授業を進めていきます。必要に応じて授業で使用する楽譜等はこちらで準備します。
- ・歌唱活動やアンサンブル活動は、パートまたはグループなどをその都度編成し、取り組みます。
- ・DVDやインターネットなどを活用し、多角的に音楽をとらえながら理解を深めていきます。

3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的な背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらしながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4. 単元の学習計画 (単元ごとの評価規準)

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	日本の歌曲に親しもう	・歌唱について、曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的な背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。	・歌唱活動において音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。	・主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	5 月	コードネームについて学び、ギターに挑戦	・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、知識技能を身に付けている。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚した	・主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。

	6月		・様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。	ことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。	
	7月				
2学期	9月	創作にチャレンジ	・音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに創作表現を創意工夫している。	・主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
	10月				
	11月				
	12月	世界のポップス	・我が国や世界各国のポップス音楽の種類と特徴について理解を深めている。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。	・主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
3学期	1月	作曲家のエピソードを知ってクラシック音楽に親しみをもとう	・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めている。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。	・主体的・協働的に調べ学習及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	2月				
	3月	様々なジャンルの歌唱に取り組もう	・歌唱について、曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。	・歌唱活動において音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。	・主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

5. 教科担当者より

- ・教科書・筆記用具は毎時間必ず準備をし、忘れ物がないようにしましょう。
- ・授業では、さまざまな題材や楽器を取り入れ、多彩な活動をします。積極的に取り組みましょう。
- ・音楽室には授業で使用する楽器がたくさんあります。丁寧に扱い、後片付けをきちんとしましょう。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
芸術	美術Ⅱ	1	選択履修	R6・2	文系
使用教科書	高校生の美術2（日本文芸社）				
副教材	なし				

1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2. 学習方法

作品制作学習。各自の作業進度に差があるので、早くできた生徒には、その課題をより深めるための課題を準備。学校行事等の関係で学習項目が入れ替わることあり。

3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

4. 単元の学習計画（単元ごとの評価規準）

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	校内を切り取る	<ul style="list-style-type: none"> 造形の要素の働きを理解している。 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 主題に応じた表現様式について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に絵画の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
	5 月				
	6 月	本の表紙のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> 本の表紙のデザインについて、主題に合った表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や条件などを基に、人と社会をつなぐデザインの働きについて考え、主題を生成している。 社会におけるデザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、個性豊かで創 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的にデザインの表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
	7 月				

				造的な表現の構想を練っている。	
2 学 期	9 月	読書感想画	・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	・自然や自己、社会などを深く見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成している。	・主体的に絵画の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
	10 月				
	11 月	プロペラのデザイン	・プロダクトデザインについて、造形の要素の働きを理解している。	・目的や条件などを基に、人と社会をつなぐデザインの働きについて考え、主題を生成している。	・主体的にデザインの表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
	12 月				
3 学 期	1 月	抽象彫刻	・造形の要素の働きを理解している。 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	・抽象彫刻について、主題に応じて表現形式について考え、個性豊かで創造的な表現の構想を練っている。	・主体的に彫刻の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
	2 月				
	3 月				

5. 教科担当者より

◎美術の授業について

・高校美術は必ずしも作品づくりばかりではありません。ものを見るための感性をのばし、自分自身の力で深く物事を観察する力を育むために、美術の歴史、技法の学習、鑑賞の方法まで幅広く活動します。

◎美術学習の留意点

- ・「へた」「じょうず」に関係なく、丁寧に最後まで仕上げた方がいい作品になります。
- ・チャイムが鳴る前に授業の準備をしましょう。
- ・道具は作品の命です。大切に扱きましょう。
- ・作品は授業中に完成させるように真剣に取り組みましょう。
- ・完成した作品はあなたの大切な分身です。自宅に持ち帰り飾るなどして鑑賞しましょう。

教科・科目				対象生徒	
教科	科目	単位数	履修形態	年度・学年	コース・HR
芸術	書道Ⅱ	1	選択履修	R6・2	文系
使用教科書	書Ⅱ				
副教材	なし				

1. 科目の目標

(1)	(2)	(3)
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書伸びを味わい深くとらえたりすることができるようにする。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2. 学習方法

- ①古典や古筆に関する知識事項の理解(講義)
②臨書学習や創作活動による技法の習得(実技)

3. 科目の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めている。 書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付け、表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深くとらえたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養おうとしている。

4. 単元の学習計画(単元ごとの評価規準)

学期	月	単元 (学習内容)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に 学習に取り組む姿勢
1 学期	4 月	○漢字の書 「篆書」 学習古典・「甲骨文」「金文」「石鼓文」「泰山刻石」	<ul style="list-style-type: none"> 古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。 古典に基づく効果的な表現の技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	5 月	・篆書の臨書と鑑賞 ・篆書による創作と鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解している。 		
	6 月	○漢字の書 「隸書」 学習古典・「礼器碑」「曹全碑」 ・隸書の臨書と鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書を構成する様々な要素について理解している。 漢字の書の特質とその歴史について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わっ 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

	7月			て捉えている。	うとしている。
2学期	9月	○実用書	・目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能を身に付けている。	・目的や用途、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。	・主体的に幅広い表現の学習活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育もうとしている。
	10月	○漢字の書 「草書」 学習古典・・・「十七帖」「書譜」 ・草書の臨書と鑑賞 ・草書による1字創作 ・簡易表装	・漢字の書を構成する様々な要素について理解している。 ・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。	・表現方式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書よさや美しさを味わって捉えている。	・主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組みようとしている。 ・主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組みようとしている。
	11月				
	12月				
3学期	1月	○漢字仮名交じりの書 ・作品制作 「生きた言葉」を書で表現する ・表装 ・鑑賞	・漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素について理解している。 ・漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 ・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。	・目的や用途、表現方式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 ・作品の価値とその根拠について考え、書よさや美しさを味わって捉えている。	・主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育もうとしている。 ・主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組みようとしている。
	2月				
	3月				

5. 教科担当者より

書と人とのかかわりは、長い歴史を経て培われ、それぞれ、その時代にふさわしい書の美を展開し、継承してきました。古人がどのように書に取り組んできたかを探ることによって、私たちも現代にふさわしい、個性あふれる書の表現を見出すことができます。書道Ⅱの学習では、書道Ⅰの学習からさらに踏み込み、日常私たちが使用することのない篆書や隸書、草書などの古い時代の書体にも取り組んでいきます。そのような古典による学習の中で、書の歴史的背景を踏まえ、古典の持つ魅力を味わいながら説得力のある自己表現の幅をさらに広げてほしいと思います。